

社より認め松本倉次清水直實両氏其ノ履行ヲ約ス

- 一 歳首減俸セズ  
但シ不正行為アリタル時ハ此ノ限りニアラス
- 二 退職年者ハ左ノ如ク定ム  
勤続一ケ年ニ付一ケ月一ケ年ニ滿タサル場合ハ日割トス歳首不幸ニ依ルテ勤ク  
場合ハ給料全額支給ス  
三年二回ノ賞与ヲ支給ス  
但シ其ノ額ハ経営者ニ一任ス  
四 公休八月二回トシ營業ニ支障ヲ来タサザル事  
五 従業員ノ給料値上ニ就テハ考慮ス  
六 裁奪ノ場合ハ本人ノ意見ヲ尊重シテ行フ  
但シ交通費辦者代ヲ支給ス  
七 過勤者ハ左ノ如ク定ム  
就業並早出ヲ命ジタル時 閉館後十二時迄五十キ以上一時同毎ニ二十五キ  
早出ハ閉館ヲテ五十キ  
八 館ノ経営讓渡ノ場合ハ本條項並ニ従業員ヲ引継グ事  
昭和九年四月七日

全國映画劇場従業員組合  
大塚館従業員殿

三業合名會社代表者 松本倉次  
清水直實

労務第ハ三三第

常務理事

労働課長

山本 蓮雄  
社 會 局 長 官

日本映画劇場株式會社従業員整理 藤 平

發生 解決  
使用労働者 三四名内女一  
爭議参加者  
関係労働組合

5571  
9 4. 26

一 標記會社ハ劇場改修次第貸貸ノ方針ニテ松竹ト交渉中ナリシガ不調ノ為メ昨年末竣成  
間際ニ於テ直營ニ決定セリ  
二 急遽ノ開場ノ為メ従業員ハ運賃餘裕ナク會社関係者又ハ其ノ知介ノ紹介ニテ六月前試編  
ノ條件ヲ採用セリ

要旨

直營ニ旨間ノ経験ニ鑑ミ營業方針ノ正道ノ必要ヲ認め本月八九十二ノ旨同並リ矢田眞  
太郎以テ二十六名ヲ解雇セリ  
昨年ノ入社ノ者ハ四五ニ月分ノ本給及社勞金一ケ月分本年入社ノ者ハ四五ニ月分ヲ支